

# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

2020年

10月

# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020年10月

## はじめに

本書は、コロナ禍が職場環境に与えた影響、リモートワーカーの現状、オフィスに戻ることへの懸念、そしてハイブリッドワークプレイスへの移行に関してビジネスをサポートする際にテクノロジーの果たす役割を把握するための調査について説明します。

コロナ禍が従業員とビジネスに与えた影響についての調査では、幹部とナレッジワーカー、そして職場環境の主な責任者にアンケートを取りました。回答を得られたのは合計 1,569 名です。

- **調査で主眼を置いているのは、コロナ前およびポストコロナの傾向です。**
  - 在宅勤務日数
  - コラボレーションツールの使用
  - ビデオ会議の課題
- **この調査では、新しいオフィス環境にも焦点を当てました。**
  - オフィスに戻る際に従業員が抱いた懸念
  - 従業員がより快適に感じるような変化
  - 職場の安全性を短期ないし長期に向上させると従業員が考える製品の種類
  - ハイブリッド作業環境への移行に役立つ主な製品と機能

# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020年10月

## エグゼクティブサマリー

この調査により、状況が変化し、全従業員の半数以上が毎月8日以上自宅で仕事をするようになっており、98%の会議に少なくとも1人の従業員が自宅からリモートで参加していることが明らかになりました。こうした作業モデルの変更は、コラボレーション製品への依存を生みます。とはいえ、ほぼすべての調査参加者が、ビデオ会議や利用可能なツールへの不満を表明しました。幹部や従業員は、リモートでの作業の生産性を高めるため、専用のコラボレーションデバイスと、デジタル会議の支援技術を求めています。

ほぼすべての従業員が、オフィスの共有デバイスに触れること、ソーシャルディスタンスを保つこと、清潔さなどに関する懸念から、職場に戻ることに不安を感じています。幸いなことに、調査対象となったほぼすべての企業が、従業員の作業環境をより安全なものにするための抜本的な改革を予定しています。参加者は、従業員がタッチレス技術、音声制御アシスタント機能、ソーシャルディスタンスの指標、デジタルサイネージを利用できるようにすることで、職場の安全性向上と不満の軽減に関して、コラボレーション製品が一定の役割を果たせることを示唆しています。

企業は、作業の柔軟性、一層の清潔さ、適切なコラボレーション製品を備えた、オフィス内の従業員とリモートの従業員のためのハイブリッドな作業環境をサポートする必要があります。オフィスに安全に戻るための準備も必要です。ハイブリッドモデル台頭の結果として、企業は小規模オフィスへのダウンサイジングを検討しており、週に数日しかオフィスにいない従業員をサポートする戦略を検討しています。この調査によると、実際の施設、デスク、会議室の使用状況や清掃スケジュールに関するメトリックを追跡できている企業は、半数以下にとどまります。AI、環境センサー、高度な分析を活用するコラボレーション製品は、あらゆるスペースの従業員をサポートするインテリジェントワークプレイスの構築を可能にし、職場の安全性を高め、コストとオフィスの使用状況を最適化するための知見を提供します。

## 主な調査結果

- **在宅勤務の新しい標準**
  - 58%が毎月8日以上在宅勤務する（ポストコロナ）
  - 会議の98%に自宅からの参加者が含まれる（ポストコロナ）
  - 98%が、在宅勤務中のビデオ会議に不満を感じている
- **従業員はオフィスに戻ることを不安に感じている**
  - 97%の従業員が、安心して働ける体制作りを望んでいる
  - 99%の企業が、コロナ禍への対応として職場の抜本的な改革を予定している
  - 94%の企業が、テクノロジーによって安全な作業環境を実現できると回答している
- **ハイブリッド作業環境**
  - 大規模組織の77%が作業の柔軟性向上を計画し、53%がオフィスの規模縮小を予定している
  - 89%の従業員が、オフィスでのエクスペリエンスに不満を表明している
  - 96%が、勤務環境を改善するためにインテリジェントワークプレイス技術が必要だと考えている

# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

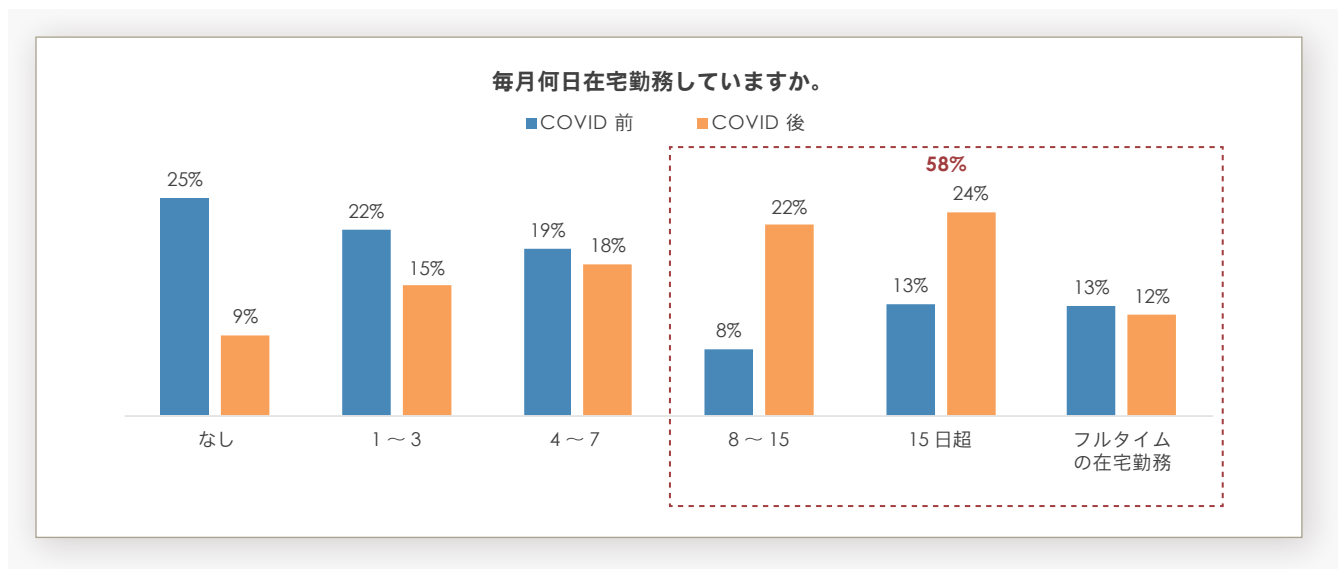


Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## 詳細な調査結果

### 在宅勤務者は新しい標準

コロナ禍が職場に与える影響は明白です。大多数のナレッジワーカーは、かなりの時間の在宅勤務を求められていました。しかし、この調査によると、パンデミックは沈静化しつつあるものの、従業員の在宅勤務は増加し続けており、58%が毎月8日以上自宅で勤務する見通しと回答しています。付加的な分析によると、フロントラインの職員から幹部に至るまで、すべてのシニアレベルで同様の変化が見られます。こうした変動は、仕事に対するアプローチと文化の大きな変化を意味します。オフィスでの全時間の勤務に戻ることを期待する回答者は、わずか9%です。つまり、ほとんどすべての組織が、オフィスの従業員とリモートの従業員の両方をサポートする計画を必要としています。





# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対するグローバル調査

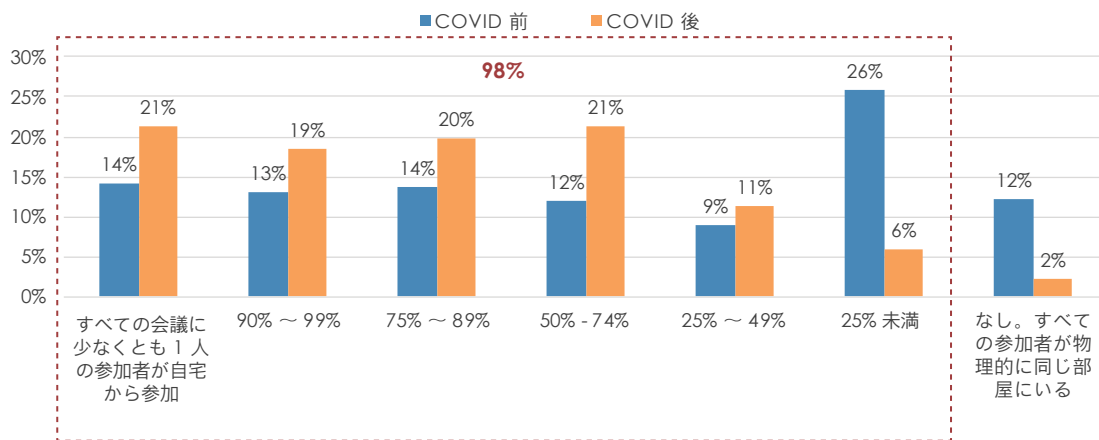


Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## ほぼすべての会議に在宅参加者が含まれる

在宅勤務の従業員が大幅に増加していることから、すべての会議のうち 98% に、在宅参加者が含まれると見込まれるようになりました。別の見方をすれば、すべての参加者が同じ会議室に物理的に出席するだろうと考える人は、調査対象となった参加者のうち、わずか 2% ということになります。この結果は、オフィス内の従業員と自宅から参加する従業員の両方にとって、ビデオ会議ソリューションへの依存度が高まっていることを示しています。

自宅から参加している参加者が少なくとも 1 人含まれる会議は、全体の何パーセントを占めていますか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

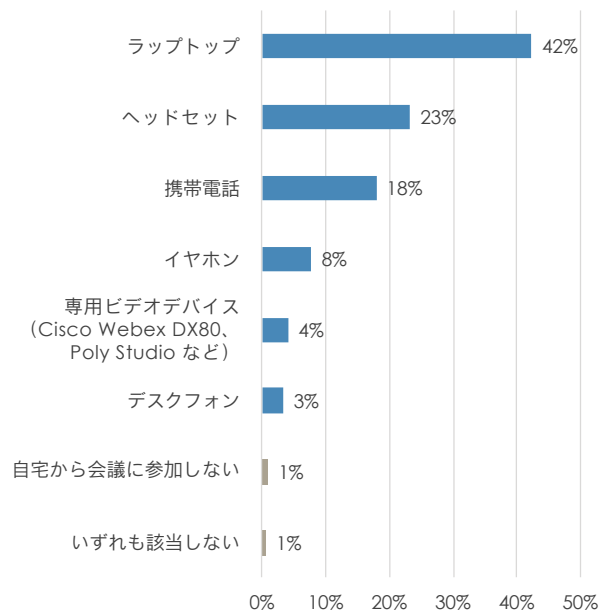


Dimensional Research 社 | 2020年10月

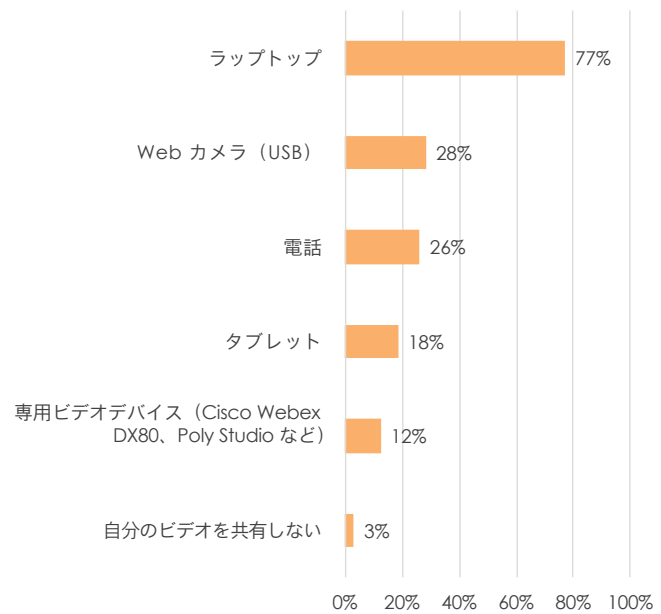
## 会議の在宅参加者はラップトップに依存

この調査により、大多数の在宅会議参加者が、音声通信（42%）とビデオ通信（77%）の両方にラップトップを使用していることが明らかになりました。ヘッドセットを使用する会議参加者は23%のみで、18%は電話を使用して自宅から会議に参加しています。2番目に多く使用されているビデオの共有手段はUSBカメラ（28%）で、次にほぼ同じ使用率の電話（26%）が続きます。この結果は、ほとんどの企業がリモート従業員用に従来の機器を使用していることを示しています。

自宅から会議に参加する場合、  
音声通話に最もよく使用する機器は  
次のうちどれですか。



自宅からビデオ会議に参加する場合、  
ビデオの共有に使用するデバイスは  
次のうちどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

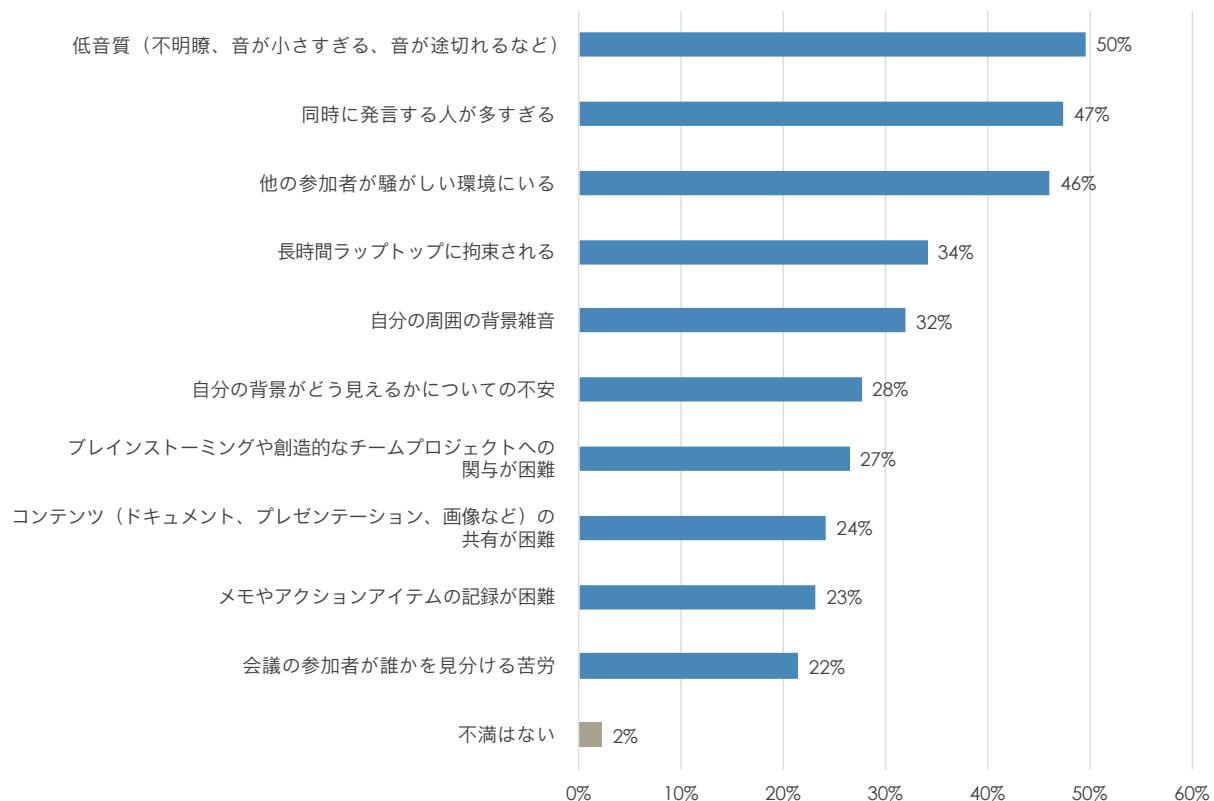


Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## ビデオ会議中の深刻な不満

調査によると、会議の在宅参加者の 98% がビデオ会議中に不満を感じています。上位 3 つの問題は、音声の明瞭度に関するものです。50% が全般的に音声の質が低いと回答しており、47% が同時に発言する人が多すぎることに不満を抱いています。また、46% が参加者の周囲からの背景雑音に苦情を訴えています。この調査結果が、非常に多くの従業員が自宅から会議に参加している中での危険信号であることは明らかです。他の参加者の声が明瞭に聞こえないことで、集中力や会議の全体的な効率が低下します。上述のとおり、大多数がラップトップを使用して会議に接続していることが明らかになりましたが、34% が、ラップトップに長時間拘束されることを問題として挙げています。これらの要因は、既存の従来型機器が不満を生み出しており、より優れたソリューションが必要であることを明確に示しています。

在宅勤務中、ビデオ会議で最も不満な点は何ですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

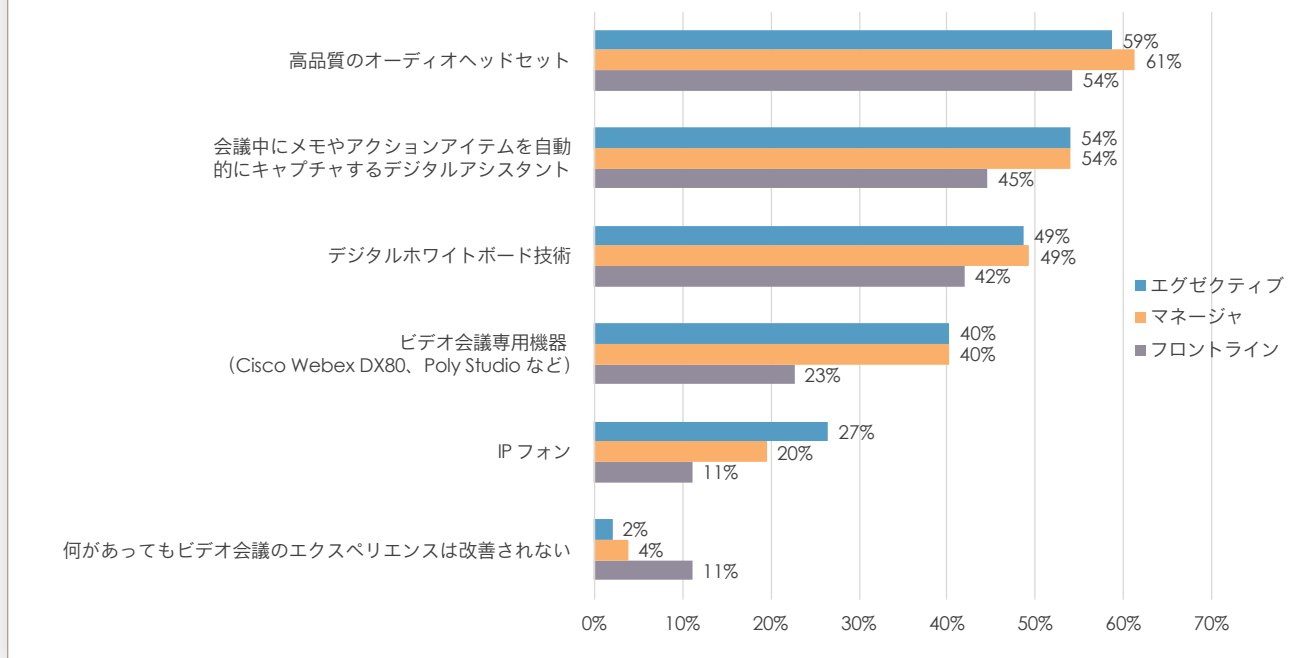


Dimensional Research 社 | 2020年10月

## 会議に特化した製品が必要

この調査では、参加者に自宅でのミーティング エクスペリエンスを改善する方法を尋ねましたが、回答の中で、全参加者の半数以上が異口同音に高品質のヘッドセットを求め、最上位となっています。次いで要望が多かった機能は、会議でメモやアクション項目をキャプチャできるデジタル会議アシスタントでした。デジタルホワイトボードに対しても、フロントラインの担当者から幹部に至るまで、多数の要望があります。専用の会議設備に対しては、幹部およびマネージャからの要望が、フロントラインの従業員からの要望よりもはるかに多く発生していました。フロントラインの従業員は、この種のソリューションの存在をおそらく認識していません。これら上位4つの改善点は、より優れた音声およびビデオエクスペリエンスと、在宅勤務や会議参加の生産性を高める機能への要望をめぐるものです。リモートワーカーにコラボレーションデバイスを提供することは、会議の生産性を確保し、不満や疲労を軽減するために優先すべき事柄です。

自宅からビデオ会議に参加する場合、  
エクスペリエンスの向上に役立つのは次のうちどれですか。





# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020年10月

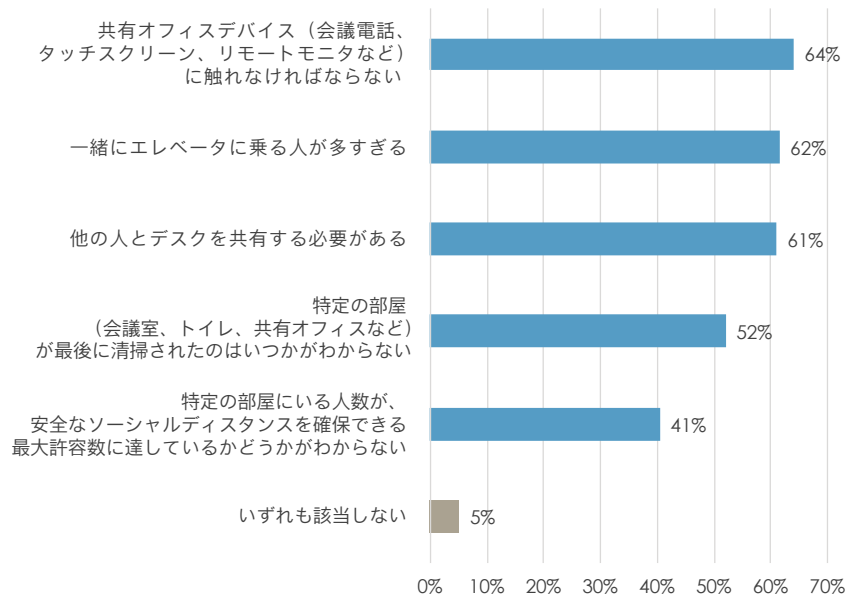
## オフィスに戻ることを恐れる従業員

調査の結果、在宅勤務への移行が進んでいることが明らかになっていますが、それでも従業員は定期的にオフィスに戻る必要があり、95%の従業員がコロナ感染のおそれから、戻ることに対する不安を感じています。懸念の最上位（64%）を占めているのは、オフィスの共有デバイスに触れたくないということです。次いで混雑したエレベータに乗ること（62%）、デスクを共有すること（61%）が続きます。上位5つの残る項目は、特定の部屋が最後に清掃された時期がわからないこと（52%）とソーシャルディスタンスの確保に関する懸念（41%）です。企業は、オフィスへの復帰計画によりこれらの懸念を軽減し、復帰計画に清潔さや潜在的に危険な状況についての頻繁な通知を含めるために、必要な措置を講じる必要があります。

私たちの働き方は大きな転換点を迎えています。すべての会議に社内勤務者と在宅勤務者が混在するという新たな標準について再考し、それを受け入れるべき時です。コラボレーションデバイスを活用したコラボレーションソフトウェアとインテリジェントワークプレイスソリューションにより、ハイブリッドワークプレイスをサポートし、チームがあらゆるスペースでシームレスにコラボレーションできるようにする方法と、職場の継続的な最適化に必要な分析方法をご紹介します。

[Cisco Webex のハイブリッドワークプレイスソリューション](#)

企業のオフィス環境で不安を感じる状況は、次のうちどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

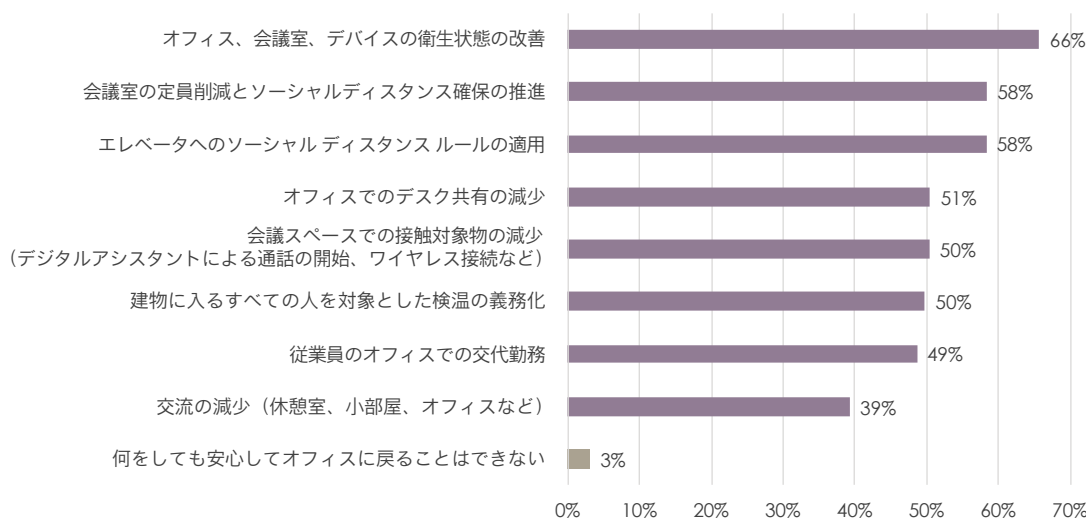


Dimensional Research 社 | 2020年10月

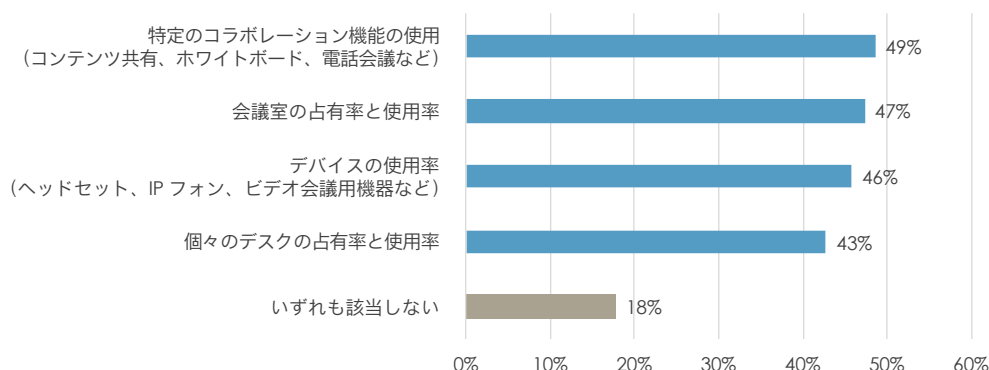
## 従業員は安心して働ける作業環境への変更を求めている

上述の懸念に基づき、従業員の実に97%が、オフィスに戻るにあたって、安全性を高めるための変更を雇用主に求めています。特に要望が多いのは、衛生状態の改善(66%)と、会議室(58%)とエレベータ(58%)の両方でのソーシャルディスタンスの確保です。その次に、4つの項目がわずか2%の差で続いており、全参加者の約半数を占めています。デスク共有の削減、接触対象物の減少、体温チェックの義務化、オフィスへの隔日出勤です。これらの項目は雇用主や施設に直接的な影響を与えます。オフィス環境を定期的かつ徹底的に清掃する必要があるだけでなく、メトリックをキャプチャして従業員に報告する必要があります。そうすることで、従業員はオフィスが清潔でソーシャルディスタンスが確保されていることを認識できます。しかし現時点で、使用状況を計測したり、清潔さについて報告したりすることが可能な企業は、全体の半数未満です。この事実は、作業環境の可視性と制御が欠けていることを示唆しています。これは、従業員が求めているものと企業が提供できるものとの間に埋めがたいギャップをもたらします。

次の作業環境の変化のうち、安心してオフィスに戻るのに役立つと感じられるものはどれですか。



次のうち、効率的かつ正確に追跡できるものはどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

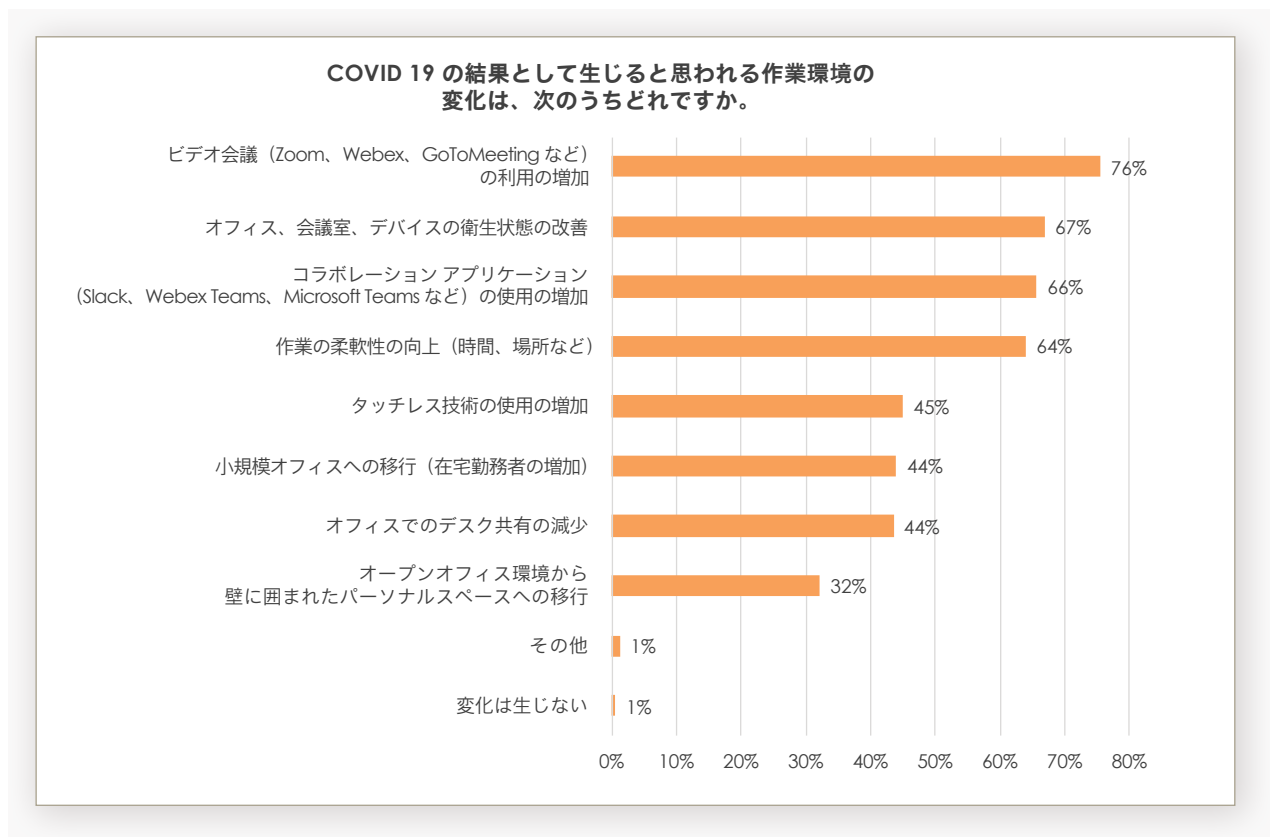
幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020年10月

## コロナ禍が作業環境を変える

コロナ禍の結果としてどのような変化が予想されるかを従業員に尋ねたところ、調査対象者の99%が変化を期待していることが判明しました。最も多かった回答はビデオ会議の増加(76%)で、次にオフィスの清潔さの向上(67%)、コラボレーションアプリケーション使用の増加(66%)が続きます。ほとんどの従業員は、在宅勤務と融通の利くスケジュールを推進する、より柔軟な働き方の実現を期待しています(64%)。参加者の約半数はタッチレス技術の一層の導入を求めています(45%)が、同時にビジネスによってオフィスが縮小し、デスク共有が減るとも考えています(44%)。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

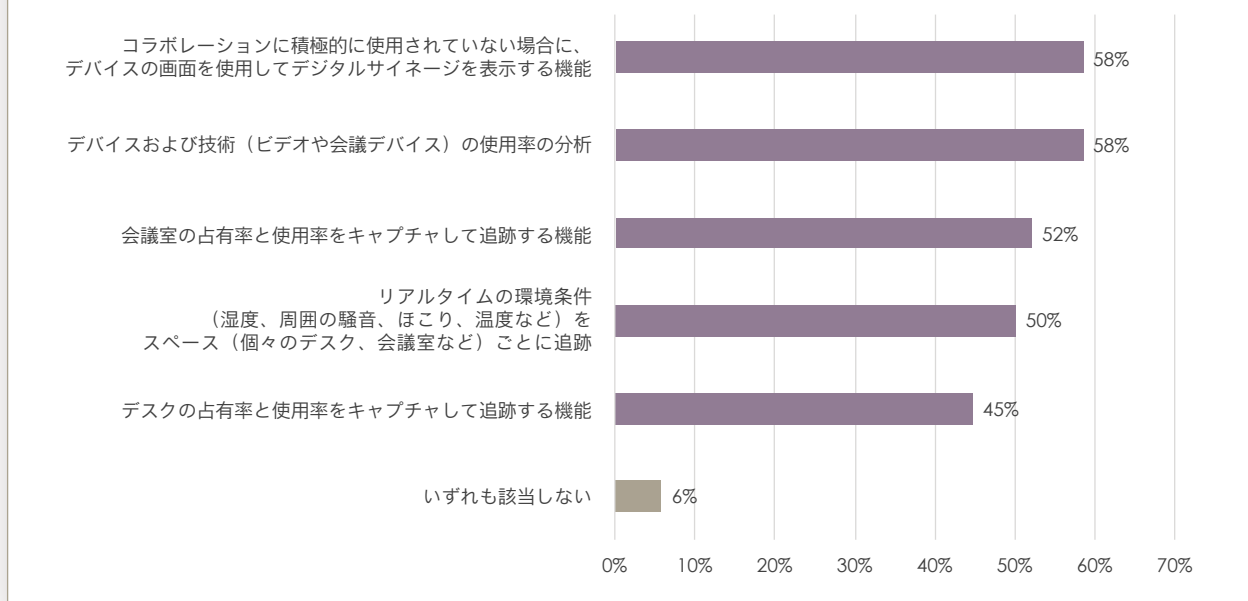


Dimensional Research 社 | 2020年10月

## テクノロジーは安全な作業環境を促進する

雇用主と従業員は、従業員にとって安全で快適な作業環境を実現するうえで、テクノロジーが重要な役割を果たせることに同意しています。58%の回答者は、会議室、ハドルームなどの場所で使用されるスクリーンで、清潔さや会議室の定員といった、ソーシャルディスタンス確保に重要な情報を伝えてくれるなら助かると述べています。また、同じ優先順位（58%）になりましたが、ビジネスおよび従業員のエクスペリエンスの専門家は、デバイスと製品の使用状況を可視化し、スペースの使用状況をより詳細に把握したいと考えています。使用状況と占有状況の追跡という同じ概念が、会議室（52%）とデスク（45%）にも適用されます。調査対象者の半数が、騒音、ほこり、温度などのリアルタイムの環境情報を把握することには価値があると表明しました。この情報は、使用状況や清掃の必要性、潜在的に危険な状況を示しているため、安全で健康的な環境の実現に役立ちます。この情報により、本書ですでに指摘した、可視性および制御のギャップの一部が解消されます。これらのインテリジェントワークスペース機能により、IT管理者や施設管理者は、職場に関する、情報に基づく意思決定に必要な知見を得ることができます。

安全な作業環境を確保する上で、  
チームにとってメリットとなる技術は次のうちどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

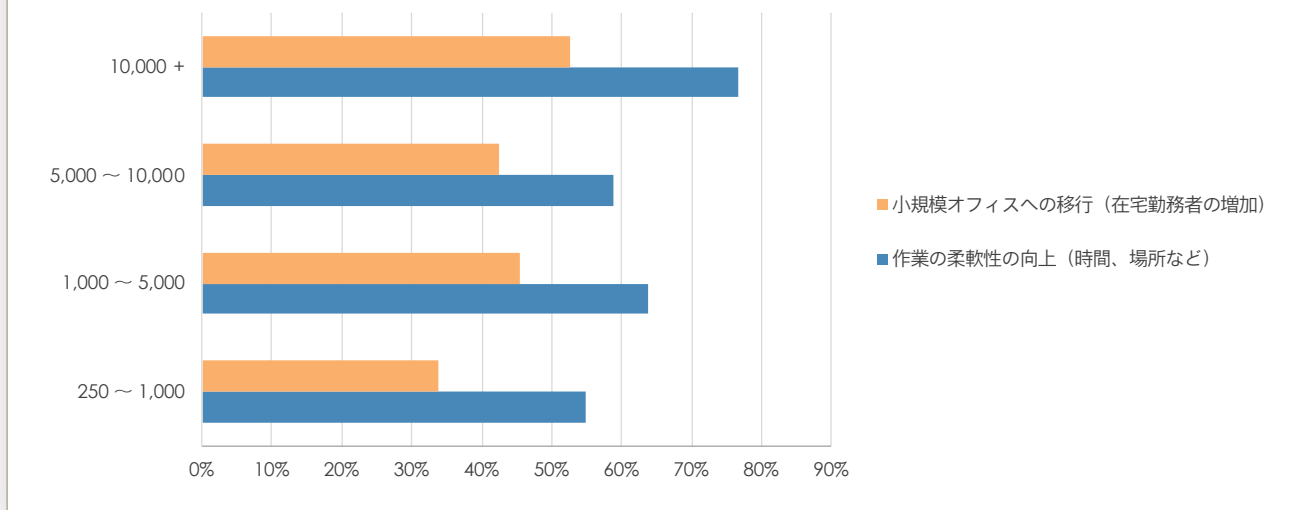


Dimensional Research 社 | 2020年10月

## 企業は従業員の柔軟性を高め、オフィスの規模を縮小する

企業は、新たな取り組みとソリューションを必要とする安全な作業環境を提供する必要がありますが、同時にコストの削減に取り組み、節約を実現する必要もあります。調査結果から、企業が検討している手段の1つがオフィスの規模の縮小であることが明らかになりました。オフィススペースの削減は、大企業にとって最優先課題であり、53%がすでにオプションの検討に入っています。小規模なオフィススペースは、従業員が在宅で働く能力と相互依存関係にあります。全企業の半数以上が従業員の柔軟性を促進していると回答していますが、この分野も大企業が主導しており、その77%が業務の柔軟性を促進しています。これらの劇的な変化により、企業は、チームが同じオフィスにいない場合でも質の高いコラボレーションを維持し、従業員がオフィスに出勤する場合に、それが不慣れなフロアや建物であっても、適切なエクスペリエンスを提供する方法の検討を求められています。

次の作業環境の変更のうち、COVID 19の結果として発生すると思われるものはどれですか。





# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

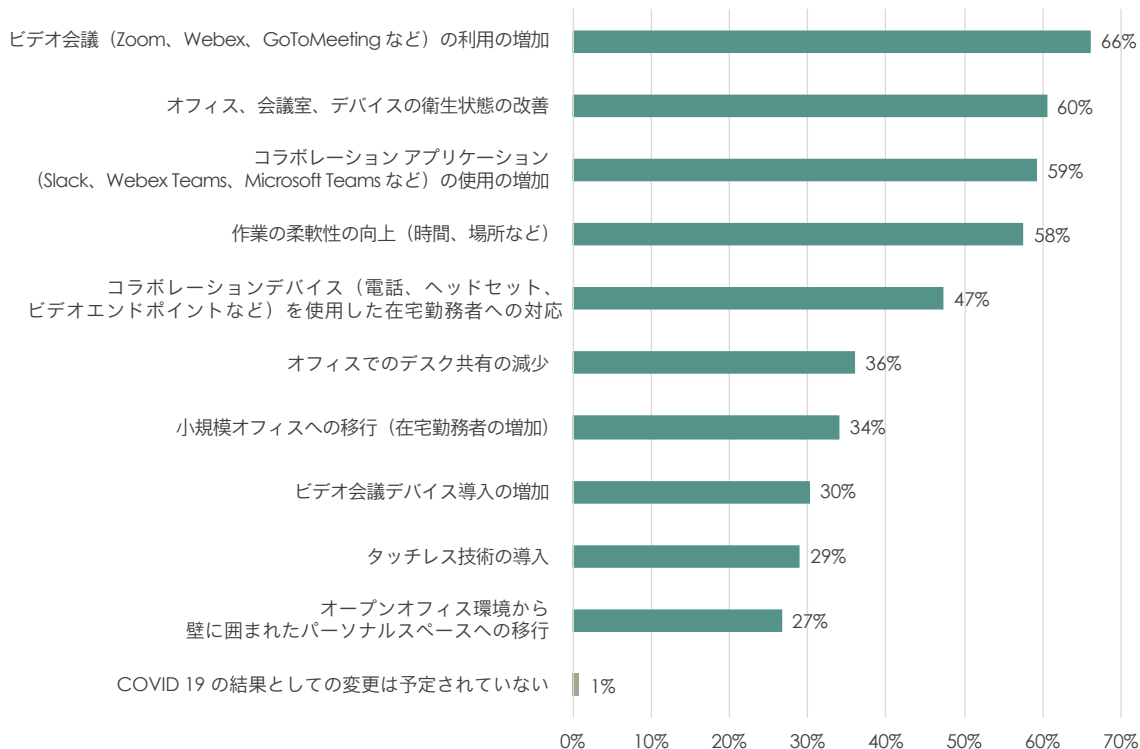


Dimensional Research 社 | 2020年10月

## 従業員のための広範な変更を計画している企業

上述のとおり、この調査では従業員が期待する変化について確認しましたが、調査の続く部分では、企業が提供を計画している事柄について意思決定者（幹部、施設担当、人事担当、IT担当）に尋ねました。調査対象となったほぼすべての企業（99%）が、従業員の安心感を高め、在宅勤務の従業員へのサポートを改善するための変更を実施していると報告しました。上位5つの変更のうちの3つは、ビデオ会議（66%）、コラボレーションアプリケーション（59%）、コラボレーションデバイス（47%）の使用を増やすことで、在宅ワーカーを支援することに重点を置いています。衛生状態の改善は重要な点ですが、取り組んでいるのは60%の企業にすぎません。さらに、58%の企業が従業員の柔軟性を向上させています。約3分の1の企業が、デスクの共有を減らし、オフィスの規模を縮小することで、作業環境を変化させると回答しています。これらの変化により、従業員がオフィスで働くのと同じように自宅でも働けるハイブリッドワークプレイスで成功を収められるように、企業は変容を遂げつつあります。

COVID 19 の結果として組織が従業員向けに計画している変更は、次のうちどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

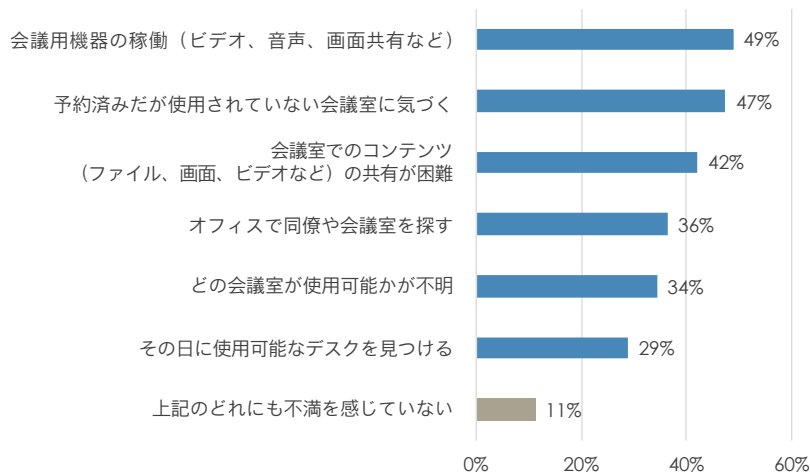


Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## 従業員の絶えざる不満

この調査では、現在の従業員の直面するオフィス内での問題も把握しており、88% が問題を報告しています。従業員の半数近く（49%）が、会議用の機器を稼働させようとしていたら立った経験があり、42% がコンテンツの共有に関する問題に言及しています。ビデオ会議がハイブリッドワークプレイスの鍵であることがこの調査で示されているため、こうした問題は特に悩みの種になります。47% が、会議室が予約されても使用されない状況に不満を感じており、大企業ではその傾向がさらに強くなっています（57%）。これらの企業では、会議室内でのソーシャルディスタンス確保を実施しており、結果的に利用可能な会議室の総数が減るため、不満がさらに高まる可能性があります。参加者は、オフィススペースで同僚を探さなければならないこと（36%）や、どの会議室が利用可能かわからないこと（34%）への不満も表明しました。職場改革の担当者は、ハイブリッドワークプレイスを計画する際に、こうした状況を改善の機会と見なす必要があります。

次のうち、オフィス内で経験するどの状況に不満を感じていますか。



57%

予約が入っているのに使用されていない会議室に不満を感じている大企業の従業員の割合

# ハイブリッドワークプレイスの台頭

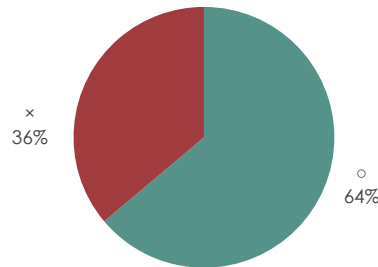
幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

雇用主は、複数のベンダーのコラボレーション製品を統合する作業の煩雑さに不満を感じており、64% が問題として挙げています。このレポートは、コロナ禍によって、自宅とオフィスの両方で働けるように従業員を支援する製品に、ビジネスがますます依存するようになってきていることを示しています。ビジネスは、信頼性が高く管理が容易なコラボレーションソリューションを必要としています。企業は、コラボレーション統合の問題を軽減し、コラボレーションソリューションの管理と維持に必要なリソースと労力を最小限に抑える戦略を検討する必要があります。企業は、最新の異種製品が実際には互換性があることを確認し、互換性のない製品を置き換えるか、信頼できるベンダーによる単一の技術スタックに移行する必要があります。

複数のコラボレーションベンダーが提供する技術やアプリケーション（ビデオ会議アプリケーションおよびデバイス、ヘッドセット、Web カメラ、会議用電話など）の統合に関する問題が、頻繁に発生していますか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査

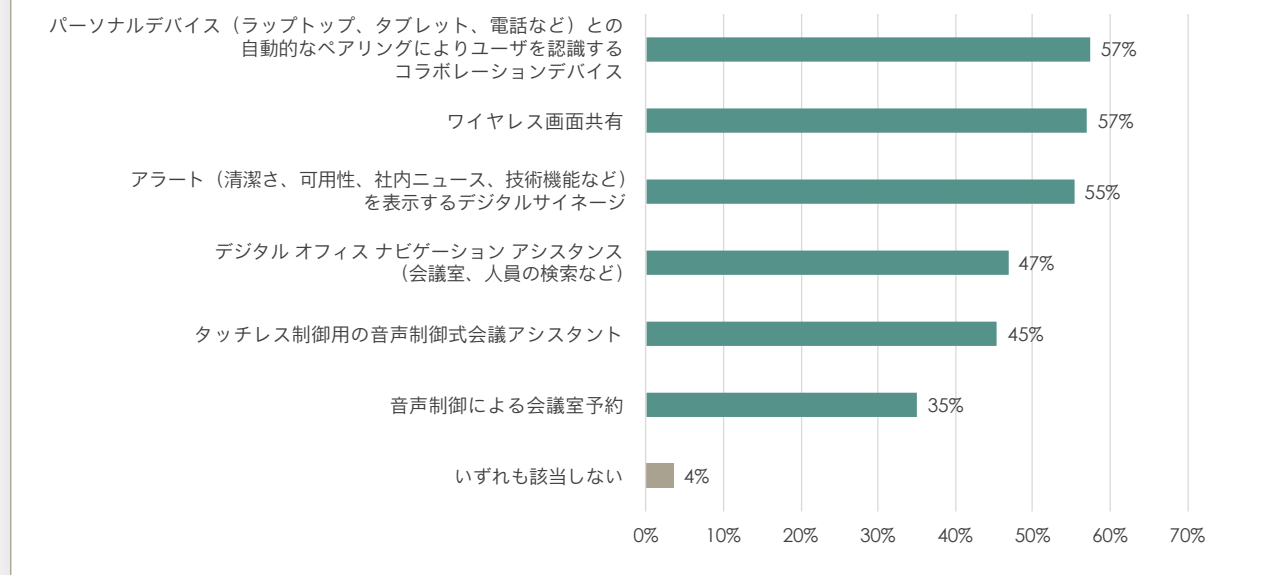


Dimensional Research 社 | 2020年10月

## 作業環境を改善するための製品

従業員の生産性の担当者（幹部、人事担当、設備チーム）に、従業員の作業環境をテクノロジーによって改善できるかどうかを尋ねました。回答者の96%が、主要なテクノロジーを活用すれば従業員やビジネスに直接的な利益をもたらすことができると述べています。最も多かった回答（57%）は、ユーザを認識し、会議室のコラボレーション機器や会議用機器などのデバイスをタブレットやラップトップと自動的にペアリングするスマートなコラボレーションデバイスと、手間を省くと同時にケーブルなどの使用頻度の高いアイテムに触れる必要性を減らすワイヤレス画面の共有に関係したものでした。半数以上（55%）が、既存の画面を使用して、室内清掃の詳細情報、会議室の空き状況、ソーシャルディスタンスに関するメトリックなどの重要な情報を従業員と共有したいと考えています。上位5種類の製品の最後に、オフィスナビゲーション（47%）と音声制御式会議アシスタント（45%）への要望が入っています。これらの製品は、従業員の安全だけでなく生産性の向上にも重点を置いたインテリジェントワークプレイスを構築するための重要な基盤となります。

次のうち、従業員により良い作業環境を提供できる技術はどれですか。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## まとめ

この調査は、大多数の従業員が今後かなりの時間を在宅勤務に費やすようになるとの一般的な見方を裏付けています。これは雇用主と従業員の両方にとって重要な変化であり、ハイブリッドワークプレイスへの移行に伴い、ビジネスは大きな変化を遂げなければなりません。変化の結果として、ビデオ会議への依存が高まり、他者の声が明瞭に聞こえない、重要なコンテンツを共有できないといった既存の課題を解決することの重要性が浮き彫りになっています。同時に、従業員は引き続きオフィスに戻ってくるので、企業は、従業員を迎えるためにさまざまな変更を実施する必要があります。安全対策を講じるだけでなく、従業員が情報に基づいた選択を行い、状況を制御できるように、従業員の行動の実態を常時明確に伝える必要もあります。

ハイブリッドワークプレイスへの変換は、重要なコラボレーション製品によって新旧両方の課題に対処する無数の機会を提供します。こうした製品により、インテリジェントワークプレイスが構築されると同時に、在宅勤務者と社内勤務者の両方に信頼性の高いソリューションを提供できます。使用頻度の高いアイテムに触れる必要を減らし、清潔さ、ソーシャルディスタンス、会議室、デスク、コラボレーション利用に関する状況を計測して伝達するソリューションが必要です。さらに、インテリジェントワークプレイスでは、データに基づいてオフィスの規模を縮小し、コミュニケーションと最適化によってスペース利用の効率性を改善しつつ、従業員のエクスペリエンスを向上させることも可能です。成功の鍵は、適切な製品、ソリューション、プロバイダーを見つけることです。IT チームも自宅で作業する可能性が高いため、対象となる製品は、連携して動作し、信頼性が高く、リモート管理が容易である必要があります。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



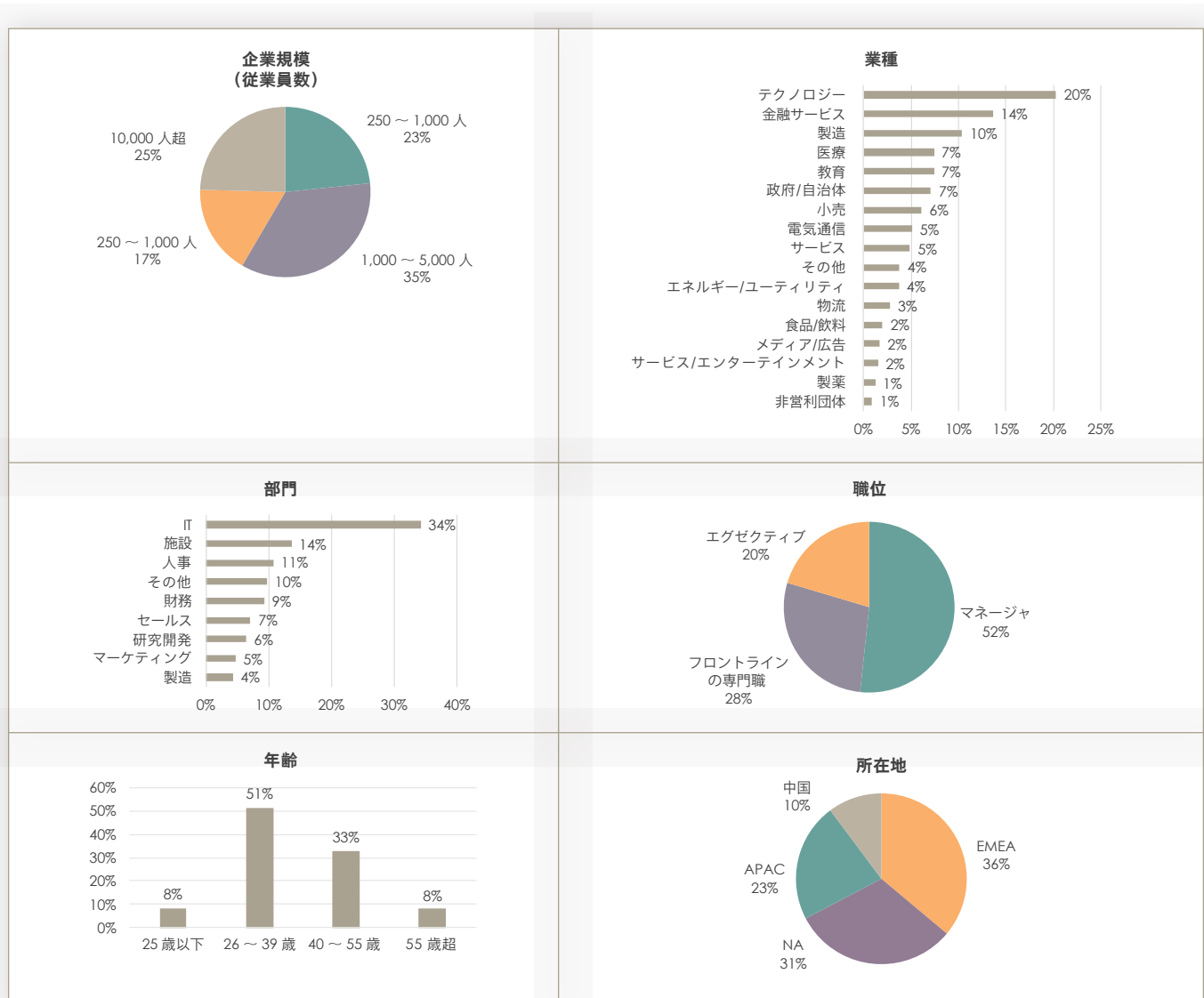
Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## 調査手法

ポストコロナの作業環境についての問題と見通しに関する調査では、幹部と IT 担当およびビジネス担当の管理職や幹部レベルの多数の従業員を対象にアンケートを取りました。すべての参加者がコラボレーション製品を使用していると報告し、各部署のリーダーは従業員の作業環境に直接責任を負っていると述べました。

回答を得られたのは合計 1,569 名です。この調査では、最新のコラボレーション ソリューション、現在の課題と、新しいハイブリッド作業環境をサポートするうえでテクノロジーが果たす役割についても調べました。

アンケートは電子的に実施され、参加者には参加に対する報酬としてトークンが提供されました。5 大陸からの参加が得られました。



# ハイブリッドワークプレイスの台頭

幹部、従業員エクスペリエンスの専門家、ナレッジワーカーに対する  
グローバル調査



Dimensional Research 社 | 2020 年 10 月

## Dimensional Research 社について

Dimensional Research 社は、テクノロジー企業が顧客の成功を支援するうえで役立つ実践的なマーケティング調査を提供しています。当社の研究者は、企業 IT に関する人材、プロセス、技術のエキスパートであり、IT 組織の運営方法を理解しています。当社は、リスクを軽減し、顧客満足度を高め、ビジネスを成長させる実用的な情報を提供するため、クライアントと連携します。

詳細については、[www.dimensionalsearch.com](http://www.dimensionalsearch.com) [英語] を参照してください。

## シスコについて

シスコ (NASDAQ : CSCO) は、インターネットを支える技術の分野で世界をけん引しています。シスコは、世界の包括的な未来のため、アプリケーションの再構築、データの保護、インフラストラクチャの変革、チームの強化により、新たな可能性を生み出します。シスコの詳細な活動については Cisco.com または Twitter (@Cisco) をご覧ください。

詳細については、<http://www.cisco.com> をご覧ください。